

10月の

園便り

新潟青陵幼稚園 20年 加藤由美子

卒園した小学一年生のお子さんが、入学すると山のような宿題に困惑している……という話を毎年のように耳にします。それは無理も無いことだろうと思います。一年生は学校の生活に慣れなければならず、初めて学習というものに出会って一生懸命適応していかなければならない状態にあるので、子どもの精神的な負担、学習に慣れる期間を考慮して、子どもにあわせた宿題の量にしていただけたらいいのにと思うのです。学習の習慣をつけるならばなおのこと、苦しいほどの宿題の量よりも、自分でやれて満足できる宿題であることのほうが、嬉しくて「終わった、宿題！」と自信を持って、また明日もやろうと思えるでしょうに……。まして、主体的に生きてきた青陵幼稚園卒の子どもたちにとっては、山のような宿題には少々抵抗を感じるかもしれません。しかし、子どもたちは、困惑しながらでも、一生懸命ついていこうとしているようです。先日、Aちゃんのお母さんからこんな話を伺いました。「最初は宿題が多くて、本当に苦しそうだったのですが、その苦しそうな姿が少しずつですが減ったんですよ。それに、夏休みに入ってからA子が『おかあさん、ドリルいっさつ、かって！』と言いました。何をするの？と聞いたら『あのね、わたしね、ひきざんがにがてだから れんしゅうしようとおもって…だからひきざんのドリルかって』と言ったんです。買ってあげたら夏休み中少しづつやっていたようで……早くできるようになったわけじゃないんですよ、でも、ゆっくりだけができるようになったみたいです。幼稚園のおかげです……。」 Aちゃんは、自分が“引き算が苦手”であることが分かっていて、それを乗り越えなければならないと思う意志の強さを持っていたんですね。Aちゃんの話を、他の保育園の先生に話したら、「うわ～主体性が育っていますね～」と驚かれていました。本当にそうなのです。主体的に生きることができるようになると私たちは願って、子どもたちの思いを大事にしています。意欲を持つことができるよう、日々の保育の中で、保育者は子どもの思いを受け止め、子どもの思いに添うということを行っています。自ら考えて物事に取り組む喜びを知ってほしいから。 幼児教育はこのような力=目に見えにくい成長を支えるものなのです。でも、一般的には幼児教育でどういうことを行なわなければならないか、知られていないようなのです。人格の基礎を作るといわれてもどういうことをするのか分かりにくいですね。Aちゃんのような具体的な姿をお知らせできたらと思っていますので、皆様から子どもたちのさまざまな姿をお知らせいただけたら嬉しいです。よろしくお願ひいたします。



まんげつの
よるまで
まちなさい」

20年10月の予定

日	曜	給食	降園時間	行事
1	水	○	2:00	21年度入園申し込みが始まります。
2	木	○	2:00	
3	金	○	2:00	さつまいも堀に出かけます。
4	土	×	11:30	自由登園日
5	日	/	/	
6	月	○	2:00	
7	火	○	2:00	
8	水	/	/	新潟県私立幼稚園教育研究大会のためお休みです。
9	木	○	2:00	
10	金	○	2:00	
11	土	/	/	第2土曜日
12	日	/	/	
13	月	/	/	体育の日
14	火	○	2:00	
15	水	○	2:00	
16	木	○	2:00	
17	金	○	2:00	
18	土	—	—	のばら祭準備のため自由登園はお休みとさせていただきます。ご了承ください。
19	日	—	—	のばら祭です。後日ご案内を差し上げます。
20	月	/	/	振替休日です。
21	火	○	2:00	
22	水	○	2:00	
23	木	○	2:00	
24	金	○	2:00	
25	土	/	/	第4土曜日
26	日	/	/	
27	月	○	2:00	
28	火	○	2:00	
29	水	×	11:30	誕生会です。10月生まれさんの保護者の方、ご一緒に祝いしましょう。
30	木	○	2:00	
31	金	○	2:00	